



きずな

第15回 山崎七郎杯 兼全道少年U-10 サッカー少年団大会 札幌地区予選

- One Eight、コンサドーレ A、
コンサドーレ C、SSS、
FC DENOVA A、北園美香保
コンサドーレ B、LIV、FC A、
札幌ジュニアパール、AGGRE
全道大会進出おめでとう！！

札幌地区代表を目指して、とても熱い試合が繰り広げられ、上記 10 チームが全道大会に進出しました。札幌の代表として全道大会でも大活躍をしてくれました。

会場はコンサドーレ札幌東雁来グラウンド(A・B)とばんけいグラウンドで行いました。

6月16日(土)		
One Eight	レアリッザーレ	
3	2-0 1-2	2

両チーム共に多くのチャンスを作り、接戦となった。前半は one Eight が 2 得点をあげる中、レアリッザーレはカウンターを仕掛けるも無得点となる。

後半に入り、レアリッザーレが猛攻を仕掛け 2 得点を挙げたが one Eight が加点し 3-2 で終了した。

6月16日(土)		
コンサドーレ札幌 A	KITAGO PIVO	
4	2-0 2-0	0

雨が降りしきる中でのキックオフとなった。序盤からコンサドーレがボールを保持しゲームが進めるもなかなかゴールに結びつかない。そんな中で 8 分の 10 番のゴールを皮切りに前半 2 得点をあげた。

後半は、KITAGO の粘り強い守備が続くがカウンターを中心とした攻撃でコンサドーレが後半 2 得点し 4-0 で勝利。全道大会出場を決めた。

6月16日(土)		
コンサドーレ札幌 C	真栄	
1	0-0 0-0 延長 1-0	0

お互いに前半からビックチャンスをつくるものの、GK のファインセーブ、バーに直撃等でゴールが生まれず後半へ。後半戦も両チーム共に、シュートまでいくものの、好守に阻まれ得点ならず、延長戦へ突入した。延長戦でも互いにゆずらず戦いが繰り広げられる中、その後半ついに均衡が破れる。コンサドーレの 10 番が、左サイドからのパスを受けシュート。ボールがゴールに吸い込まれた。その後、真栄も攻撃を仕掛けるもタイムアップ。1-0 でコンサドーレ C が勝利した。

6月16日(土)		
SSS	JSN	
1	1-0 0-0	0

立ち上がりから、お互いに多くのシュートチャンスを作りゴールを目指す。GKのセーブやハンドの判定などがありなかなかスコアが動かない。そんな中で前半終了直前に、SSSのパス交換から6番のミドルシュートが炸裂。SSSが先制する。

後半、JSNが何度もゴールに迫るが、GKを中心とした守備ブロックを崩せずに終了。1-0でSSSの勝利となった。

6月16日(土)		
FC.DENOVA A	西園・福井野	
1	0-0 1-0	0

DENOVAが主導権を握り試合を運ぶが、西園・福井野の固い守備が光り、決定機を作らせず、前半が終了した。

後半もDENOVAが優位に進めるが、西園・福井野のGKがスーパーセーブで持ちこたえる。延長戦突入かと思われた、最後のCKをDENOVA10がきっちり決めきり決勝点。1-0でDENOVAが勝利した。

6月16日(土)		
北園美香保	クラブフィールズ	
4	2-1 2-0	1

前半開始早々、北園美香保がCKから32番が決め先制する。その後も32番を中心とした攻撃を仕掛けるが、フィールズは体を張った守備で追加点を許さない。そんな中、縦パスに反応したフィールズ29番のゴールで同点となる。

しかし、その後は北園美香保が猛攻を仕掛け3得点をあげ4-1でフィールズを撃破し、全道進出を決めた。

6月16日(土)		
コンサドーレ札幌B	アスルクラロ札幌	
4	3-0 1-0	0

コンサドーレがボールを動かし優位に進めるが、アスルクラロの懸命な守備を魅せる試合展開。それでも徐々にコンサドーレの攻撃が展開され、6分の16番の先制ゴール等で前半を3-0で折り返す。

後半も攻撃の手を緩めず1点加えしコンサドーレ4-0の勝利で全道大会進出を決めた。

6月16日(土)		
LIV.FC A	SSSサクセスsol	
5	1-2 4-0	2

LIVのパス回しの隙をつきサクセスが先制。直後も雨でスリッピーなボールをGKがファンブルし追加点をあげ、サクセスペースで試合が進む。このままの流れで進むかと思われたが、LIVが徐々に落ち着きを取り戻し自分達のゲームにしていっていった。丁寧なパスワークを武器に守備を翻弄し、後半にゴールラッシュをかけた。5-2でサクセスを退け全道大会への進出を決めた。

6月16日(土)		
ベアフット北海道	札幌ジュニアパープル	
0	0-0 0-0 0延長0 3PK4	0

大きな展開力で次々とチャンスを作るもなかなかネットを揺らすことのできない札幌Jr。対するベアフットも固い守備とカウンターで応戦し、両チームなかなかゴールを奪えない。後半・延長戦とお互いに見せ場を作るも、どちらも粘り強く守りきりPK戦となった。

ベアフット4人目のキックが非情にもポストを叩きゲームセット。札幌Jrが全道へ駒を進めた。

6月16日(土)

AGGRE

八軒北

5

3-0
2-0

0

開始早々AGGRE のミドルシュートが GK のファンブルを誘い先制。その後ゲームの大半を八軒北陣内で過ごす展開になるが、GK が孤軍奮闘し、ナイスセーブを連発。しかし、個人技で勝る AGGRE の圧倒的な攻撃力に打つ手はなく、5 得点を挙げた AGGRE が全道大会への切符を勝ち取った。

